



令和元年8月22日
No.83

社協だより



令和元年度

元気づくりプログラム研修事業



本年7月31日 仁万会場の様子

大田市内では、各
地域でふれあい・い
きいきサロンなどの
介護予防活動が活発
に取組まれており、
地域のみなさんが工
夫を凝らしたプログ
ラムを企画し、自主
的な活動が数多く行
われています。そう
した活動に取り入れ
ていただけるような
プログラムの提供と
スタッフの皆さんご
自身が心も体も元気

ろん、みなさんが家庭でも取り組
んでいたような体操や運動
プログラムをご指導いただきまし
た。楽しいお話と運動のポイント
などを分かりやすくご指導いただ
き、終始笑いの絶えない研修会と
なりました。
参加者からは、「とても楽しく
参考になり、あっという間に時間
が過ぎました」「早速サロンでも
使っていきたいと思えます」など
の感想をいただきました。ぜひそ
れぞれの団体に活動に取り入れ、
ますますサロンの輪が広がること
を願っています。



に過ごしていただく
機会として、毎年こ
の研修会を開催して
います。

今年度は出雲市よ
り健康運動指導士の
山根千恵美さんを講
師に迎え、「サロン
で楽しくできる健康
づくり」体を動かし
笑って、ふれあって
心も体も元気になろ
う」と題して、市
内4カ所での開催と
しました。研修会
は、サロンではもち

平成
30年度

社会福祉法人 大田市社会福祉協議会 事業報告

1. 事業概要

全国的に人口減少と少子高齢化の急速な進展、孤立や貧困問題が深刻化する中、大田市においても、生活不安を抱えている世帯への支援や困りごとを受け止めるセーフティネットワークの構築と、それらの状況や課題をわがことと捉える地域づくりが必要となってきました。さまざまな生活のしづらさを抱えているにも関わらず、地域で孤立している人や、複合的かつ多様な問題を抱えているがゆえに必要な支援がつかっていない人の増加など、社協が果たす役割がこれまで以上に求められる中、解決へ向けた支援やしくみづくりを進めて行くため、大田市より「地域福祉支えあい推進事業」を受託し、多機関協働総合的な相談体制づくりや地域でのネットワークの構築に取り組みました。

地域住民に対する個別支援としては、自立相談支援事業での包括的な相談支援や生活支援による世帯の自立の助長、福祉サービス利用援助事業や法人後見事業及び大田市成年後見支援センター事業等権利擁護の推進について、民生児童委員をはじめとする地域の様々な関係機関・団体と連携し、取組みを行いました。

また、近年、国内において自然災害が多発する中、昨年4月に大田市を震源とした島根県西部地震が発生し、大田市東部を中心として大きな被害が生じました。本会では、復旧復興のため災害ボランティアセンターを開設し、延べ約

800件(3月末日現在の相談に対応し、ニーズに対して延べ4,163人のボランティアにより活動を実施しました。センターの運営においては、民生児童委員協議会をはじめとして、地区社協、福祉施設などの市内の関係機関・団体のほか、県内外の多くのみなさんのご協力により実施することができました。さらに、9月10日にセンターを閉鎖した後も、被災者からの活動のニーズや生活での困りごと相談などに社協として関わり続けていくため、ボランティア活動の継続のほか、暮らしの困りごと・悩み事を受けとめる「ふくしよろず相談窓口」を開設し、当事者だけでなくの解決が難しい複雑な課題を一人ひとりに寄り添いながら解決に向けた支援を行いました。

地域においては、住民主体の支えあいの体制づくりとして生活支援体制整備事業を推進し、地区社協、民生児童委員の他、自治会やサロンなどの地域住民組織の連携により地域の特色を活かした事業運営やスタッフの人材育成など地域と連携して取り組みました。平成30年度は新たに5地区に協議体が設置され、3月末日現在市内17地区で高齢者通いの場づくりを中心とした事業に取り組みされています。

このほか、地区社会福祉協議会をはじめ民生児童委員協議会、各関係機関・団体のご協力をいただきながら「第2次大田市地域福祉活動計画」に基づき事業を推進しました。

2. 実施事業

推進目標1 住民参加による地域福祉活動の推進

(1) 地区社協を中心とした住民主体の地域づくりの推進

- ◇地区社会福祉協議会会長の開催(1回)
- ◇第1回地区社会福祉協議会連絡会議の開催(1回)

- ◇地区社協活動支援事業(大田市内全地区社協)
- ◇福祉委員活動の推進

- ◇地域力強化推進事業(地域福祉支えあい推進事業・CSW設置事業 地域福祉力アップ推進事業)
- ① CSW(コミュニティソーシャルワーカー)の設置
- ② ふくしよろず相談窓口の開設(受付件数167件)
- ③ CSW(コミュニティソーシャルワーカー)活動の推進に向けた体制の整備(地域力強化推進ミーティングの設置(2回開催))

- ④ 地域福祉力アップ推進事業(15地区社協)
- ◇移動・外出支援に関する地域活動助成事業(3地区社協)

(2) 住民自主組織の活動支援

- ◇ふれあい・いきいきサロンづくり活動推進事業
- ・指定サロン/1サロン
- ・平成30年度末現在のサロン総数/130サロン
- ◇ふれあい・いきいきサロン研修会の実施(1回)
- ◇大田市介護予防活動市民大会「サロン大交流会」(1回)
- ◇地域介護予防活動支援事業
- ① 介護予防活動実施申請団体(163団体)
- ② ふれあいいきいきサロン・介護予防活動団体交流会(1回)
- ③ 元気づくりプログラム研修事業

- 参加しやすい研修会とするため市内4か所で開催した。
- ◇子育て支援団体連絡会への支援(1回)

◇生活支援体制整備事業

市内各地域での生活支援に関する協議会の設置・運営、事業の実施について、大田市及び関係機関と連携して取組みの支援を行うと共に、地域での支えあいの地域づくりに向けた意識啓発を目的とした研修や説明を積極的に実施し、新たに5地区で協議会が設置され、市内の協議会設置数は17地区となった。

- ① 市内各地区への訪問及び相談対応実績(20地区延べ167回訪問)
- ② 協議会の設置状況(17地区)
- ③ 生活支援コーディネーター情報交換会の開催(月1回)
- ④ スタッフ研修会の開催(4回)

- ◇レクリエーション用具等貸出し事業
- 福祉体験学習用品(疑似体験等)、軽スポーツ・レクリエーション用具貸出し

(3) 住民相互の助け合い意識の啓発とつながりづくり

- ◇地域研修事業の実施(市内全地区社協)
- ◇高齢者の見守り活動に関する協定に基づく連携(対応1件)

(4) 地域福祉活動への住民及び施設・団体等の参加促進

- ◇障がい者社会参加促進事業の実施
- ① 障がい者スポーツ大会の実施(1回)
- ② 生活訓練事業の実施
- (1) 視覚障がい者の集い(1回)
- (2) バスハイキング事業(1回)
- (3) 障がい者との体験ツアー(1回)
- (4) 身体障がい者パソコン教室(4回)
- (5) 福祉講演会(1回)
- ◇障がい者週間啓発事業の開催(人権週間啓発事業との共催)(1回)
- ◇健康・生きがいづくりフェスティバル開催支援

- ◇グラウンドゴルフ、ゲートボール、ダイヤゾーンボール、サイクリング、健康マラソン、ターゲットボードゴルフ、将棋

- ◇社会福祉法人地域公益活動の推進(1回)

- ◇老人福祉センター管理運営事業
 - ①大田老人福祉センター
 - ・利用団体総数 701団体
 - ・利用者総数 18,839名
 - ②仁摩老人福祉センター(びしゃもん)
 - ・市内入湯者数 3,812名
 - ・市外入湯者数 8名
- ◇施設利用団体総数 112団体
- ◇共同募金運動への協力
 - ・募金運動に協力し、集まった募金を各地区社協・福祉事業実施団体・当事者組織等へ事業助成を行った。
- ◇団体等事務局の受託
 - ・大田市身体障がい者福祉協会
 - ・大田市障がい者関係団体連絡協議会
 - ・大田市民生児童委員協議会
 - ・日本赤十字社島根県支部大田市地区
 - ・大田市共同募金委員会

推進目標2 在宅生活の自立を支える活動の推進

- (1)関係機関との連携による相談体制の充実
 - ◇大田市福祉総合相談事業
 - ①一般相談(440件)
 - ②専門相談(司法書士相談)(10件)
 - ③石見法律相談センター相談会
 - (1)面談相談(74件)
 - (2)パソコン法律相談(14件)
 - ④関西大学法科大学院出張法律相談(10件)
- ◇生活困窮者に対する支援(生活サポートセンター)おのだの取組み
 - ◇新規相談者数 15名
 - ◇支援計画(プラン)件数 3件
- ◇資金貸付事業
 - ①生活福祉資金貸付
 - 〈対象〉高齢者、障がい者、低所得者世帯
 - 〈業務〉資金相談(借入相談、申請支援、生活相談、償還指導等)
 - 〈相談件数〉418件
 - ②民生融資金貸付(生活資金・緊急現金)
 - 〈対象〉生活困窮状態
 - 〈業務〉資金相談(借入相談、生活相談、償還指導等)
 - 〈貸付実績〉13件
- ③フードバンク事業(寄付食料品備蓄による困窮者への食料支援)
 - 〈主な寄付食料品〉米、カップ麺、レトルト食品、缶詰等
 - 〈食料寄付件数〉30件
 - 〈食料支援件数〉118件
- ◇多機関の協働による包括的支援体制構築事業(地域福祉支え合い推進事業「総合的な相談支援体制づくり事業」)
 - ①事業推進プロジェクト会議の設置
 - 〈開催実績〉10回
 - ②大田市地域福祉推進支援機関代表者会議(相談支援包括化推進会議)の設置
 - 〈開催実績〉1回(準備会)
 - ③大田市地域福祉推進支援機関実務者会議の設置
 - 〈開催実績〉1回
 - ④相談支援包括化推進員の配置
 - ⑤相談管理システムの導入
- (3)個別課題に基づく地域づくり
 - ◇このころのたより発行事業
 - 〈対象者〉1,980名
 - ◇重度身体障がい者移動支援事業の実施
 - 〈利用登録者数〉141名
 - 〈稼働日数〉174日
 - 〈利用者数〉15名
 - ◇年間利用者数 延べ187名
 - 〈ボランティア〉30名
 - 〈運転者・補助員:明星の会〉(ボランティア活動実績)延べ363名
 - 〈運行用務 病院へ受診リハビリ、買い物等〉
 - ◇学生服等再活用事業
 - 〈対象物〉市内の小・中学校及び近隣高校の制服、体操服、柔道着
 - 〈寄付者及び寄付物〉20名から70件
 - 〈寄付物内訳〉学生服:41件、体操服:12件、柔道着:4件、その他:13件
 - 〈制服等準備品提供数〉1世帯
 - (4)当事者団体などへの支援
 - ◇大田市身体障がい者福祉協会事務局受託
 - ◇大田市障がい者関係団体連絡協議会事務局受託
 - ◇大田市シニアクラブ連合会活動支援

推進目標3 ボランティア活動の推進

- ◇福祉バス運行事業
 - 〈利用団体数〉42団体
 - 〈運行回数〉134回
 - ◇家族相談員紹介事業
 - 〈年間相談件数〉120回
- (1)ボランティア人材の養成とスキルアップ
 - ◇ボランティア交流事業
 - ・縁カフエおた(2回)
 - ◇奉仕員養成事業(手話・点訳・音訳)
 - ①手話奉仕員養成講座(前期日程:全21回)
 - ②点訳奉仕員養成講座(全12回)
 - ③広報音訳ボランティア養成講座(全5回)
 - ◇地域福祉活動サポーター養成事業
 - ①聞こえのサポーター養成講座(2回)
 - ②移動介助ボランティア養成講座
 - ③ボランティア・市民活動センターの運営
 - ・団体及び施設行事へのボランティア依頼/10件(活動者延べ73名)
 - ・食育活動ボランティア依頼/83件
 - (2)ボランティア活動に関する相談・支援体制の強化
 - ◇ボランティア活動支援事業
 - ◇緩和ケア啓発事業への助成・支援(2回)
 - ◇ボランティア保険に関する手続き事務
 - ・ボランティア活動保険/2,606名(事故対応 2件)
 - ・送迎保険/27件(事故対応 0件)
 - ・ボランティア行事用保険/923件(事故対応 1件)
 - ◇福祉サービス総合保障/21件(事故対応 0件)
 - ◇収集ボランティア活動の推進
 - ・使用済み切手/39件
 - ・ブルタブ/56件
 - ・ペットボトルのキャップ/40件
 - ◇民間助成事業(愛のともしび募金等)に関する情報提供
 - (3)災害時に備えた地域住民及び関係機関とのネットワーク体制の強化
 - ◇災害ボランティア活動の推進
 - ・災害ボランティアセンター運営者・運営支援者養成講座へ参加

推進目標4 福祉の心・人材の育成

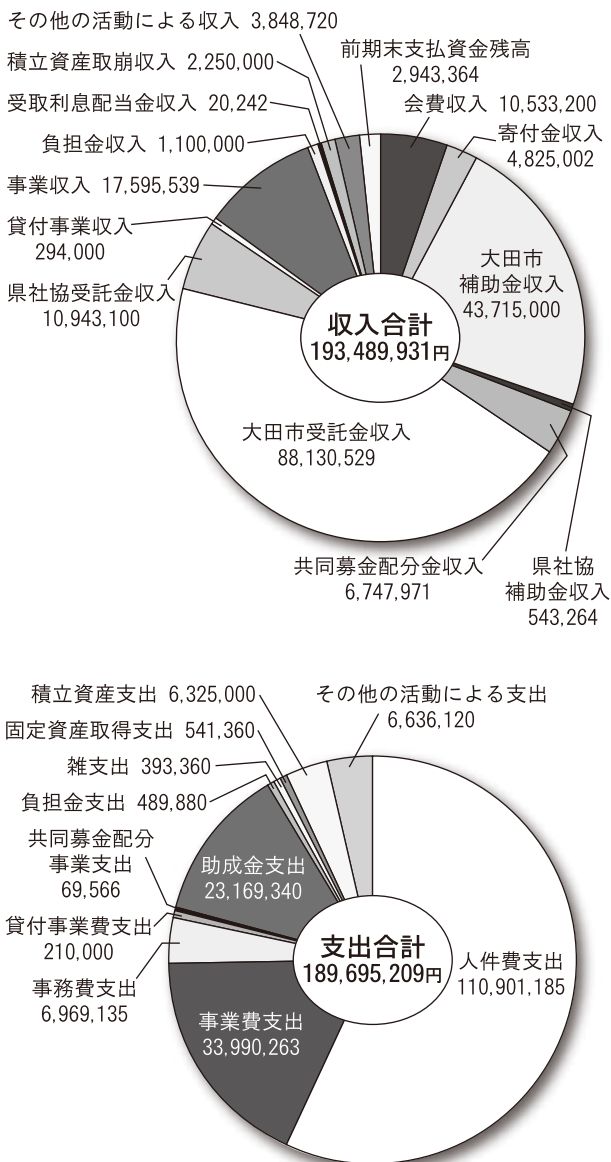
- (1)住民主体の地域福祉活動推進に向けた意識啓発と担い手の育成
 - ◇体験学習や交流を通じた障がい者や高齢者への理解促進
 - 〈小学校〉
 - 実施校数/5校(累計実施回数13回)
 - 対象人数/延べ253名
 - 内容/障がいについて(障がいの理解、体験学習)、高齢者疑似体験
 - 〈中学校〉
 - 実施校数/1校(実施回数2回)
 - 対象人数/延べ148名
 - 内容/高齢者疑似体験、大田市の高齢者の状況について
 - ◇災害訓練等への協力
 - 地域で開催される防災訓練に参加した。(川合町)
 - ◇島根県・市町村社会福祉協議会災害時支援協定に基づき、被災地へ職員を派遣し災害ボランティアセンターの運営支援を行った。
 - 県内:江津市、美郷町、川本町
 - 県外:広島県三原市、東広島市、岡山県倉敷市
- ◇しまね災害福祉広域支援ネットワークへの職員の登録及び派遣
 - ・福祉専門職登録者数:4名(社会福祉士)
 - ・研修会への参加
- ◇大田市災害ボランティアセンターの開設
 - 開設期間/平成30年4月12日(木)～平成30年9月10日(月)
 - 開設場所/大田市民会館1階ホワイエ(4月12日～6月2日まで)
 - 大田市社会福祉協議会会議室(6月3日～9月10日まで)
 - 活動状況(平成31年3月31日未現在)
 - (1)相談件数:807件
 - (2)活動件数:658件
 - (3)延べ活動者:4,163名

- 推進目標5 権利擁護の推進**
- (1) 権利擁護体制の充実
 ◇ 福祉サービス利用援助事業
 ◇ 日常生活自立支援事業
 (1) 支援計画作成
 (2) 関係機関との連絡調整
 利用件数：99件
 相談件数：3,819件
- (2) 法人後見事業（法人による成年後見制度への取り組み）
 (1) 法人後見運営委員会（1回）
 (2) 出雲成年後見センターとの連携及び定例会への参加
 (3) 法人後見の受任（3件）
- (3) 大田市成年後見支援センター事業
 (1) 大田市成年後見支援センター運営委員会（2回）

- (高 校)
- 実施校数/1校
 対象人数/160名
 内容/あいサポート研修
 ◇ チャレンジ・ザ・ボランティアinサマーの実施
 (参加者数) 28名
 (中学生：18名、高校生：10名)
- (2) ライフステージに応じた福祉教育の推進
 地域・学校及び企業等へ向けた福祉教育（高齢、障がいの理解）
- (3) 福祉に関する情報提供及び啓発の推進
 ◇ 福祉器具の貸出（25件）
 ◇ 点字・声の広報の発行
 ◇ 点字広報の発行
 (実施回数) 毎月1回（12回実施）
 ① 音訳広報の発行
 ・ 広報おおだ 年12回（月1回）
 ・ 市議会だより 年4回
 （5月、7月、10月、1月）
 ・ 社協だより 年6回
 （4月、6月、8月、10月、12月、2月）
 ・ 身障の友大田 年3回
 （6月、11月、3月）
 ・ 暮らしの情報、健康診断や不燃物収集等の年間予定表 年1回

資金収支決算

期間：平成30年4月1日
 ～平成31年3月31日まで
 (単位：円)



当期末支払資金残高 3,794,722円

- (2) 福祉事務所をはじめとする関係機関・団体との連携
 ◇ 大田市地域医療支援対策協議会との連携
- (3) 市民後見人登録審査委員会(1回)
 (2) 市民後見人材バンク交流会の開催(3回)
 (4) 市民後見人の推薦(5名 累計市民後見人20名)
 (5) 成年後見制度・私のあんしんノート出前講座(4回)
 (6) 大田市成年後見支援センター相談件数及び専門職候補紹介件数
 相談件数：11件
 紹介件数：9件
 (7) その他
 ・ 市民後見人の監督及び推薦時の面接立会
 ・ 松江家庭裁判所出雲支部で開催された「家事関係機関との連絡協議会」に出席
 ・ 松江家庭裁判所で開催された「家事関係機関との連絡協議会」にて大田の事例報告

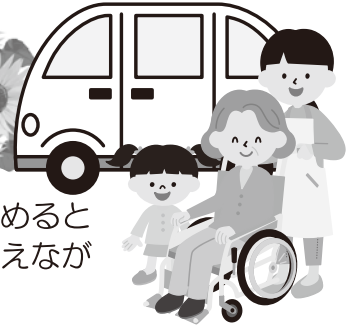
- 推進目標6 組織体制の強化**
- (1) 広報活動の充実
 ◇ 社協だより発行(偶数月・年6回)
 ◇ ホームページによる情報提供
 ◇ ケーブルテレビなどの広報媒体の活用
- (2) 事業推進体制の強化
 ① 理事会の開催(5回)
 ② 評議員会の開催(3回)
 ③ 監査会の開催(1回)
 ④ 苦情解決のための第三者委員への苦情、相談
 ⑤ 職員の専門性向上と資格取得促進
 ・ 社会福祉士(通信) 1名受講中
 ・ 精神保健福祉士 2名資格取得
- (3) 財源の確保
 ・ 会員制度の周知と会員拡大

貸借対照表

平成31年3月31日
 (単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
○資産の部		○負債の部	
◇流動資産	11,663,344	◇流動負債	7,868,622
◇固定資産	159,103,248	◇固定負債	59,316,840
資産の部合計	170,766,592	負債の部合計	67,185,462
		○純資産の部	
		◇基本金	3,000,000
		◇国庫補助金等特別積立金	0
		◇その他の積立金	95,960,115
		◇次期繰越活動増減差額	4,621,015
		純資産の部合計	103,581,130
		負債及び純資産の部合計	170,766,592

移動介助ボランティア 養成講座を開催します!



本講座では、視覚障がい・肢体不自由に関する理解を深めるとともに、移動介助に必要な知識と技術について、実技を交えながら学びます。

令和元年 **9月30日(月)** 大田市民センター4階

9:30~12:00 ▶ 視覚障がい者移動介助ボランティア養成
13:00~15:30 ▶ 車イス移動介助ボランティア養成

どちらか一方のみの受講も可能です

定員 各講座15名程度(申込み順)

申込 下記の申込先まで電話かFAXにてお申込みください

申込締切 令和元年 **9月20日(金)**

申込先・問合せ先 〒694-0064 大田市大田町大田イ128 大田市社会福祉協議会
TEL 0854-82-0091 FAX 0854-82-9960 (担当:大迫・大久保)

令和元年度 しまね県民福祉大会

令和元年 **9月21日(土)**
島根県民会館「大ホール」

第1部

式典 福祉活動功労者等の表彰
13:00~14:20

入場料
無料

第2部

講演
講師 **堀尾正明氏**
14:30~16:00



演題

「地域活性化の
決めてはこれだ!」
~ご近所の底力・取材活動から~

同日開催

WakuWakuふれあいマルシェ

(障がい者福祉施設の製品販売)

11:10~16:00 (商品がなくなると終わります)

お問い合わせ先 島根県社会福祉協議会 企画部
TEL 0852-32-5955

令和元年度 福祉・保育の仕事 就職・転職フェアしまね にお越しください!

島根県内の福祉事業所の人材確保及び福祉職場に就職を希望する方への支援を目的に開催します。

令和元年 **9月6日(金)** 17:30~20:00
7日(土) 13:00~15:00

いきいきプラザ島根 体育館

(松江市東津田町1741-3)

内容

- 事業所による個別就職面談コーナー
- 福祉人材センターによる就職に関する相談
- 求職登録
- 福祉の仕事ガイダンス
- ハローワーク、ナースセンター、ミドル・シニア、レディース仕事センター、シルバー人材センターによる就職相談(2日目のみ)
- 無料託児あり(要申込)

参加無料、申込不要、入退場自由、服装自由

お問い合わせ先 島根県社会福祉協議会(島根県福祉人材センター)
TEL 0852-32-5957

シニアクラブ 情報局

催し

お知らせ

募集

第14回 グラウンドゴルフ大会

第14回大田市シニアクラブ連合主催のグラウンドゴルフ大会を、7月8日(月)大田市総合運動場で開催いたしました。曇り空で雨が降りそうな天気でしたが89名の参加で熱戦が展開され、ホールインワンは8本出ました。結果は次の通りです。



【団体の部】

- 優勝 温泉津 寿クラブ
- 準優勝 仁摩 砂時計
- 第3位 朝山 朝寿会
- 第4位 大田 ことぶき会A
- 第5位 久利 寿会

団体ゲーム上位5チームは10月2日(水)の県大会出場です

【個人の部】

- 優勝 安部富美子(温泉津 寿クラブ)
- 準優勝 山崎久義(温泉津 寿クラブ)
- 第3位 佐々木 均(大田 ことぶき会)
- 第4位 安江吉元(温泉津 寿クラブ)
- 第5位 見戸新三郎(久利 寿会)

ホールインワン賞 8本



令和元年度 健康スポーツ大会

今年も温泉津、仁摩それぞれのブロックで高齢者の健康・生きがいづくりと会員相互の親睦を図ることを目的に「健康スポーツ大会」が開催されました。

じゃんけんポン!!

パンが取れな〜い!!!

楽しいね!

みんぱもらえたかな?

おかげが
入らな〜い

温泉津
ブロック

仁摩
ブロック

意外と
難しいのね~

輪っかに
入ったよ!!

1回で
当てたわよ!!

次回
行事予定

- 9月5日(木) ゲートボール大会
- 9月19日(木) 活動推進研修会
- 10月11日(金) 温泉津ブロック福祉大会
- 10月17日(木) 大田スポーツ大会
- 10月24日(木)~25日(金) 親睦旅行
- 10月31日(木) 囲碁・将棋大会
- 11月15日(金) 仁摩ブロック福祉大会



ずっとつながる

大田市シニアクラブ連合会

〒694-0064 大田市大田町大田イ128番地
TEL 0854-84-0266
FAX 0854-82-9960
月曜日・木曜日 8:30~17:00(祝日休)



ホットつながる

クラブ紹介

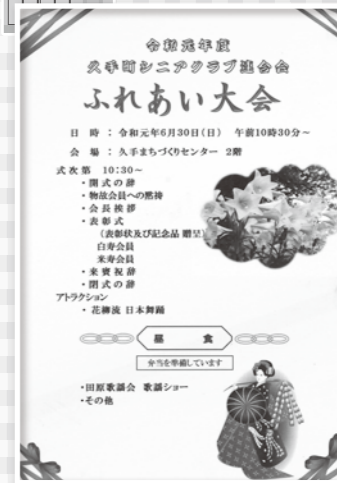
久手町シニアクラブ連合会

ふれあい大会

久手町老人クラブ連合会(2018年久手町シニアクラブ連合会に改称)は昭和40年ごろ発足し、久手町全域36の自治会があり9の単位クラブで200名の会員数で、活発に活動をしていました。

現在は4クラブ、100名で活動をしています。

この「ふれあい大会」は発足以来毎年、久手町各種団体との交流を深め、地域の子どものふれあいをモットーに、毎年式典とアトラクション・神楽・銭太鼓・舞踊・歌謡ショー等を行っています。



久手連合は、いままで先輩が築いてくれたこのふれあい大会の維持継続と楽しく・賑やかに・気楽に参加できるよう工夫を凝らして行っています。



ご寄付ありがとうございました

大田市の地域福祉のために有効に活用させていただきます

(令和元年6月～令和元年7月受付分順不同・敬称略)

※社会福祉法人への寄付は、個人は所得税法または租税特別措置法寄附金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます

○香典返し寄付

大田 熱田 純一 三谷 昌廣
福田 眞知子 原田 貴子

池田 大塚 康夫 土岐 昭平
山口 石橋 節男

波根 坂根 一樹 飯田 剛
久手 藤原 孝幸 向田 久子

長久 渡邊 宏志 熊谷 達也
鳥井 赤松 保久 中島 雪枝

静間 月森 俊一 熊谷 靖
五十猛 辻 美樹夫 井藤 和範

大屋 西上 基道 岡 雪枝
久利 鹿毛 亦造 亀本 歩美

大森 水田 雄二 神田 ちづ子
水上 龜本 昌洋

祖式 市原 誠 坂根 法子
温泉津 森井 田頼賞 笠木 智昇

山形 正喜・俊樹・ひろ子

仁摩 谷本 和徳 山口 正之

小川 嘉文 曾我 好春

掛内 誠 松浦 淳
塩谷 弘明

○食品・学生服等の寄贈

大田市役所総務部危機管理課

他多数の方々に協力いただきました。

以上、829,000円のご寄付をいただきました。また、古切手、プルタブ、ペットボトルのキャップも多数いただきました。

義援金へのご協力

ありがとうございます

令和元年6月～令和元年7月受付分(順不同)

寄付者一覧

※ご承諾をいただきました方のご芳名等を掲載させていただきます。

平成30年7月豪雨災害義援金

・大田市役所設置義援金箱

平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

・大田市役所設置義援金箱

本会にお寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通して被災地に送られます。

編集後記

9月は防災月間です。昨年4月の島根県西部地震のように災害は突然やってきます。しかし、ちょっとした意識の違いで助かるかどうかということもあるはず。その意識とは「地震はいつでも起きる」という認識です。

しかし私達は、いつも「地震が起きたら」などと考え続けて生きていくわけにはいきません。ただ全く考えたことがないよりは、1回でも考えてみ

た方が咄嗟の行動というのにはできるはず。家に居て料理等で火や刃物を使っている時、風呂に入っている時、そして布団の中で「今地震が起きたら」と考えてみて下さい。それから勤務先や学校はどうでしょうか。通勤途中、外出時、車を運転している時等…。

近辺で危険と思われる場所を考えた、防災グッズの見直しや非常食の賞味期限を見たりする等、些細なことですが防災に対するの備えを見直してみてもいいでしょうか。(て)



心のたより発行事業

この事業は、大田市民生児童委員協議会との共催で、大田市内にお住まいの75歳以上のひとり暮らしの高齢者の方、ご夫婦とも80歳以上の高齢者夫婦のみの世帯に、暑中見舞いをお届けすることで、声かけ・見守り等の安否確認を行うことを目的に実施しています。

宛名書きは、担当地域の民生児童委員さんにご協力いただきました。

ハガキを受け取られた方からは、さっそくお礼の電話や葉書をいただいております。